

第9回遊佐町立学校適正整備審議会 会議録

会議日時 平成31年1月18日（金曜日） 19時00分～20時30分

会議場所 遊佐町役場 議事所

出席者 伊藤 順一（遊佐町小中学校長会会長）
松本 三也（遊佐町小中学校長会）
太田 くみ（蕨岡まちづくり協会）
佐藤 憲三（遊佐地域づくり協議会）
眞嶋 一（稲川まちづくり協会）
伊藤 悦子（西遊佐地区まちづくりの会）
小田原 裕（高瀬まちづくりの会）
佐藤 浩毅（吹浦地区まちづくり協議会）
今野 博義（蕨岡小学校PTA会長）
川俣 善幸（遊佐小学校PTA会長）
高橋 智（藤崎小学校PTA会長）
阿部 勝志（高瀬小学校PTA会長）
高橋 太一（吹浦小学校PTA副会長）
那須 正幸（遊佐中学校PTA会長）
池田与四也（遊佐町総務課長）
伊藤 新一（遊佐中学校教育後援会会長）
伊藤 淳子（杉の子幼稚園園長）
佐藤 美紀（前遊佐中学校PTA副会長）

傍聴人 山形新聞社 1名 他 6名

協議事項 (1) 第8回遊佐町立学校適正整備審議会会議録の承認
(2) 資料説明（全戸配布用中間答申等資料ほか）
(3) 意見交換
①全戸配布用の中間答申書等について
②アンケート調査の内容等について

※以下、赤字の部分については個人情報取扱いの観点より公開は控えさせていただきます。

協議内容の概要

教育課長 前回第8回の会議では、初めに11月13日に開催しました第7回審議会の経過を報告し承認を得ました後、資料の説明を行なっております。資料については11月27日から12月7日に実施しました中間答申の保護者と各地区説明会での意見等を取りまとめた資料を提示しましてその内容について説明をさせていただきました。そして説明会に参加された各委員のご意見等をいただきながら次回、住民に対する周知が徹底している状況の中で全戸配布する中間答申書等の内容あるいは説明会の質疑応答の関係、適正審のこれまでの経緯、できる限り細部の分かる資料を作成しまして、その資料を見て改めてアンケートを行なうという形で再度回答をいただくことにし、これら一連の内容に

ついて次回審議することを申し合わせたところでありました。

その後、次回審議会の開催を1月18日に行なうということで終了したところ
でございます。前回の経過は以上となります。

引き続き協議に入りたいと思います。座長については、伊藤会長をお願いいた
します。なお本日の会議録署名委員につきましては佐藤美紀委員と松本委員に
なります。どうぞよろしくをお願いいたします。前回の会議録署名委員は伊藤淳
子委員と那須委員、後ほど承認を得ましたら署名をお願いいたします。それで
は協議の進行を伊藤会長、よろしくをお願いいたします。

伊藤会長 それでは暫時の間座長を務めさせていただきます。4協議に入ります。(1)
第8回遊佐町立学校適正整備審議会会議録の承認について、皆さま、ご承認いただ
けますでしょうか。挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

どうもありがとうございます。全員挙手ということで承認させていただきました。
続きまして(2)に移ります。資料説明(全戸配布用中間答申等資料ほか)、
事務局お願いします。

教育課長 それでは説明させていただきます。前回からご指摘をいただいております中
間答申に係る全戸配布資料であります。次第の別資料に表題として遊佐町立
学校適正整備に係る中間答申について、平成31年2月、遊佐町教育委員会の
資料をご覧になっていただきたいと思っております。事前にこの資料については送布
させていただいておりますので委員の皆さま確認されていると思っておりますが、簡
単に説明いたします。最初の表題については教育委員会からのお知らせとして
中間答申が示されましたので町民各位に周知するために資料を作成したこと、
ホームページにも掲載しておりますので確認できる方は見ていただきたいと
記載しています。そしてこの資料の内容について、ページ数を入れながら目次
を示しております。中間答申書の内容がP1からP10までになっておりまし
て、新たに適正整備審議会の開催された平成23年度からの審議会の経過につ
いてもP11に掲載しております。最後のページには11月27日から12月
7日までに行なった保護者対象や地区の説明会のご意見等について掲載させ
ていただいております。その内容についてよいかどうか各委員からご意見をち
ょうだいしたいと思います。なお住民に資料を提示し周知をしながら再度アン
ケート調査を行なうこととしておりましたので、その様式、内容について今回
資料として一緒に議場で配布させていただいておりますので、よろしいかど
うかの審議もお願いしたいと思います。これは事前に配布しておりませ
んでしたので本日ご覧になっていただきながらご意見をちょうだいと思い
ますが、中身が前回よりシンプルな形にしてありますし、ご指摘いただ
いたようにアンケートの中身でありますけれども、平成35年という一応の統合時
期の目安が中間答申で示されておりますので、その通り進めてよろしいかど
うか、あとはそれ以外の年度にした方がいいのか、どちらか一方を選ぶ形のアン
ケートになってございます。その他のご意見については下段の方に記入してい
ただくようになっております。なお今回アンケートの対象については、前回小
学校1年生以下の保護者世帯全部としておりましたが、今回小学校6年生まで

含めた小学校全体と協議の中で保育園幼稚園に入っている方と前回しておりましたが、保育園幼稚園に入れていない世帯もありましたので、その辺の取り扱いをどうするか、できれば、一軒一軒調べるのが容易でないというところもありますので、保育園幼稚園の年少以上の保護者世帯を対象にさせていただけるのであれば、保育園幼稚園の方に配布できるわけですが、年少以上の方で保育園に入れていない家庭は1世帯しかありませんでしたので、そちらには郵送も可能かと思えます。そういったやり方でよろしいかもあわせてご検討願えればと思っております。

最後になりますが次第の裏面に1月1日現在の児童数の推移、変更がありましたので変更させていただいております。赤字のところが増加になったところがあります。吹浦小1年生、2022年度前回よりプラス1となって12名になっております。資料の説明は以上になります。

教育長 P11の訂正は。

教育課長 失礼しました。中間答申書の全戸配布資料のP11、平成29年9月、町教委に要望書提出という書き方になっておりますが、要望書は提出しておりませんでしたので、「上記5回の懇談会を経て出された意見（要望）等」と訂正させていただきます。お手元に資料を配布させていただいております。郵送した資料とそこが訂正となっておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

伊藤会長 ありがとうございます。ただ今は全戸配布用の中間答申書等の資料についての事務局の説明がございましたが、これについてご質問等ございますでしょうか。分からないということがあれば挙手のうえお願いいたします。

那須委員 資料の説明の4の1、児童数の推移の見込みがありますが、複式学級になる網掛け、私たちは分かるが、他の方々が見た場合、児童数が2学年計で16名以下になると複式になりますという文言を入れてもらった方が分かりやすいのではないかと思います。今回の資料には入っていなかったもので、一般の方が見ても分かるような形にさせていただけるとありがたいです。

伊藤会長 はい。事務局どうでしょうか。

教育課長 そのように前日も言われたところで、事務局で直しておりませんでした。そこは直しまして、直したものを全戸配布したいと思います。

伊藤会長 よろしく願いいたします。その他ございますでしょうか。

今野委員 資料の最後P12、中間答申の説明会の概要、色々出された質問に対しての現段階での見解、回答だと思うのですが、④不足している教室を増設することになるしっかりした教室にしてほしい。というご意見が出たわけですが、最大5教室となっておりますが、5教室とは普通科クラスだけで考えて5教室だったのではなかったでしょうか。最低5教室という表現になるのではないのでしょうか。

伊藤会長 最大5教室は最低5教室ではないですか。ということですね。

教育長 普通教室が5つということ。

今野委員 そうすると普通教室と表記した方がよろしいかと思います。それからこの概要について、いろいろ説明会に出ましたところで色んなご意見が出たわけですが、ここに載っていないものといまして、各地区で非常勤でもいいので講師を雇用していただきたいというご意見がいくつも説明会であったのです。

が、それに返しての現段階での概要ですとかそういったものを入れていただきたいと考えます。

教育長 複式学級への講師の配置。

今野委員 そうです。

今野委員 複式学級が発生した学校に対しましての手厚い支援と言いますか、できれば支援員では授業を持つことはできないということがあるので、教員の資格を持っていらっしゃる講師、教員となるとなかなか難しいと思いますので、講師というお話はどこの説明会でも出ておりましたし、それに関しまして、県の教育委員会に聞かないと分からないというお話だとすれば、きちんと現段階での文書としての回答を求めたいと思います。

先日講師を雇うことによって他の予算が減らされるという話もありましたので、そういったところの事実確認をきちんとしていただきたいという意味合いです。

教育長 県の方では、今のところ県内ではこれまでそういうことを認めてきていないし、さんさんプランをしていますので、講師を配置する予定はないと回答いただいています。

今野委員 込み入った話にはなってくるのですが、平成23年からの市町村立学校職員給与負担法が改正になりまして基本的には雇うことが可能となっているはずですが。これは当初構造改革の特区だけ認められていたものですが、その特区が法律が改正されまして2006年3月、一部その法律が改正されまして、法律上は雇用することが可能となっているはずですので。

教育長 そこは今、県に問い合わせをしていますけれども検討して現段階では認めないと回答をいただいています。なおそういう状況も県は把握していますので精査したいと返事をいただいております。時間がかかるといただいております。

伊藤会長 よろしゅうございますか。その他ございますでしょうか。

阿部委員 P11、中間答申までの経緯、前回審議会に私がプロセスについてうまくまとめたものをとということで、今回この資料を見てうまく簡略化されてまとめたものが想定されていると思いました。1つこの中で24年度適正審からの答申書は資料に掲載されていない、教育委員会の基本方針は載っているのですが、例えばそういったものがホームページ上で公開されているもの、昔のものなのであるのであれば、こちらの方をご参照くださいとかいった文言、例えば28年度の小中学校PTA会長一同が要望書を提出した、その時町P連の会長だったのですが、その時の要望書はどんな形で出されたのか資料に載せる必要はないのですが、例えばホームページ上で出せるようなものであれば、詳しく見たい方ももしかしたらいるかもしれないので、そういったものも付ける。

伊藤会長 ただいまのお話は、平成28年の小中学校PTA会長一同が町教委に要望書を提出した。今はこの文言しか載っていないが、内容等をホームページで結構ですので

教育長 24年3月のやつ。

阿部委員 24年の基本方針は載っているが答申書は載っていない。基本方針があればいいのかもしれない。その前に答申書がどのような形で出たのか。

伊藤会長 過去の答申内容をホームページに掲載できるかということですね。事務局い

かがでしょうか。

教育課長 24年3月にいただいた答申、町教育委員会の基本方針を含め、今要望がございました、統合準備委員会から町長への統合新校開校議会要望書ですとか28年3月の懇談会設置の要望書等も含めてできる限り載せるようにします。

阿部委員 その方がいいと思います。

伊藤会長 ありがとうございます。その他ございますでしょうか。

無いようですので次に進めさせていただきます。実質意見交換みたいになっていますが(3)意見交換①全戸配布用の中間答申書等については今皆さんからお話が出ましたので、次に進めさせていただきたいと思います。②アンケート調査の内容等についてに入っていきたいと思います。事務局再度説明をお願いします。

教育課長 先ほども若干申し上げましたとおり、前回委員の皆さま方から再度アンケートを取ってその結果を最終答申の方にも、というお話しでありましたので、それに対するアンケートの中身であります。アンケート調査のご協力ということで添書を前につけております。封筒を一緒に同封しますので、配布については小学校、幼稚園、保育園を通して行ないたいと思っております。基本的には1世帯1つ、1世帯単位にしますので保育園幼稚園小学校どちらにもお子さんがいらっしゃる世帯については小学校を基本に提出を願いたいと思っております。保育園幼稚園に2人以上いらっしゃる場合にも年長を中心に提出を願いたいと思っております。その配布については、保育園幼稚園にお願いしたいと思っております。先ほど申し上げました対象については、小学校6年生までは学校等を通して配布できますので容易にできますが、幼稚園保育園に入っていない、小学校にも入っていない。6歳以下の子どもがいて幼稚園保育園を通して配布できない世帯をどうするか、6歳以下の世帯数を調べましたらだいたい369世帯と健康福祉課から回答を得ております。その中で58世帯が保育園幼稚園に行っていないということでありますので、370分の60くらいの世帯がアンケートを受け取らない世帯が出てくるわけですのでそれをどうするかということであります。4歳以上の世帯にしますと4歳以上で保育園幼稚園に入れていない世帯は1世帯しかございませんでしたので、その世帯についてはこちらで把握は可能と思っております。ですので、それ以外の57世帯についてはアンケートをしなくてもよろしいか、あるいはそちらも調べて6歳以下の世帯全部をやった方がいいのではないかとということであれば、これからアンケート用紙配布まで調べることとなります。その辺を皆さま方から審議をしていただきたい。対象の範囲の審議とアンケート様式はこのままでよろしいかどうか協議をしていただきたいと思っております。

伊藤会長 ありがとうございます。ただいまのアンケートの件で事務局から報告がありましたが、この回答用紙(案)について、皆さまからご意見等をいただければ、挙手の上お願いいたします。

那須委員 こちらの適正整備に係る中間答申については広報と一緒に全戸配布。アンケートにも入れて皆さんにお渡しするということでありましたので、アンケートの、例えばP12は説明会の返答になっておりますので、アンケートにP12をご覧くださいとかガイドラインを入れていただいた方が、例えば最後の小学校開校に関して上記以外のご意見がありましたらというところでPTAの方

は細かいところが、準備委員会で出てくるような意見がたまに出てくると思いますのでその辺のところ、中々分からないところもあると思いますので、資料 P 1 2 をご覧くださいというふうな形で入れていただきたいと思います。あと①の見出し、平成 3 5 年度の統合新校開校に向けて進めてほしい。そのなぜ 3 5 年度になっているのかを下の方に入れていただくと分かりやすいかと思えますので配慮をいただければありがたいと思います。よろしく願いします。

伊藤会長 ありがとうございます。アンケートに 1, 2, 3 とございますが、そこに別紙、中間答申についての資料がございますが、その中からガイドラインをここに分かるように示していただけないかということ、事務局いかがでしょうか。

教育課長 アンケートの表題の表の方に赤線の枠の中、最後の欄になりますが、この辺にも入れておりますが、なおアンケート用紙の 2-①にはそこに至った理由を簡単に記載し、3 ご意見をちょうだいするところについては配布資料の P 1 2 をご覧くださいと分かるように、なるべくアンケートを書きやすいようにこちらでも配慮させていただきたいと思えます。

伊藤会長 ありがとうございます。①についてはなぜ 3 5 年度なのか、小学校新校開校に関し…意見がありましたらご記入くださいというところには P 1 2 をご覧くださいというガイドラインを付けるということでもいいでしょうか。よろしゅうございませうか。
その他ございますでしょうか。

今野委員 前回の審議会でもお話があったと思えますが、アンケートを取る際に説明会の中でも各地区に温度差があったように記憶しておりますので小学校区がきちんと分かるように、例えばあなたのお子さんについての前のところに小学校区のくくりで丸を付けてもらうことはできないのでしょうか。それが 1 点。それから事務局から説明がありましたが、アンケートの対象から外れてしまうご家庭があるということでしたが、個別のお子さんの学年とかよく分からないのですが、例えば説明会の中でも遊佐町外から移住されてこられた方も非常にいらっしゃったと思うのですが、できれば幅広く意見を聞く上では、今回対象から外れる家庭がないような形で進めていただいたほうがよろしいのではないかと私自身は思えます。

伊藤会長 ありがとうございます。ただいまのご意見、事務局お願いします。

教育長 小学校区は用紙の色別とかでもできるわけですね。

教育課長 学校別が必要であれば、小学校ごとの回収になるので特に用紙の色を変える必要もありませんし、学校ごとに集計すれば当然学校ごとの回答集計ができます。

今野委員 集約の方法としては学校経由、保育園経由でいいと思うのですが、枚数が枚数なので、記入された方にきちんと書いていただくか学校毎に色が違うとかきちんと見目で判断できる形を取っていただきたいと思います。

伊藤会長 識別ということですが事務局いかがですか。

教育課長 特に集計する事務局としては分ける必要はございません。

佐藤（憲） 色別までは、整理するのは事務局がやるわけだから、対象のところ自分の学校名をつけたり

教育課長 他の学校からくることが無ければ学校単位で集まりますのでその心配はな

いと思います。

教育長

保育園もある。

教育課長

保育園は保育園ごとにします。

佐藤（憲）

まず成果が同じような結果が出るとすれば、せめて用紙とかそれくらいは事務の繁雑を防ぐために、色分けはしないけれど私は思います。

伊藤会長

この件に関しまして何かご意見ある方いらっしゃいますか。事務局。

教育長

皆さんのご意見がそうなら

教育課長

学区を、学校ごと記入できるようにした方がいいということですか。地区ごとにすれば稲川、西遊佐は藤崎になりますので地区でも構わないと思います。

伊藤会長

この件に関しまして、小学校区ごとでここに記載して表示したらいかがですか。というご要望、ご提案ですがこの件に関しまして皆さんいかがでしょうか。

佐藤（美）

保育園や幼稚園に通われているお子さんはどちらの学校になるか分かりづらと思うので未就学児に関しては地区を表記してもらったほうがいい。

委員

教育課長

全部地区ごとに記入していただくのであれば問題ないと思います。もしそういうことが必要であれば地区名も記入してくださいと地区だけ入れますのでそれぞれ記入していただけるようにしたいと思います。それとも丸を付けて簡明に、全部の地区を入れて丸を付けてもらったほうが、記入しないかたがもしかしたらいらっしゃるかもしれませんのでそのほうがよろしければ初めから地区の名称を入れて丸を記入してもらおうようにしましょうか。

伊藤会長

事務局のお話の中で各地区に自分の該当するところに丸を付けるとご提案がありましたがいかがでしょうか。

ではそのような格好で、6地区。

よろしゅうございますね。その他ございますでしょうか。

今野委員

アンケートの内容ではなく、取られた後のことを1つ要望したいのですが、集約していただく部分は構わないのですが、アンケートについては少なくとも審議員の皆さんは全アンケートを確認できる体制をとっていただけると非常にありがたいと思います。抜粋しての意見を取りあげて集約していただくということだと思うのですが、それぞれ記載内容が似てるようなものもあるかもしれませんが、全部を網羅されるのは非常に難しいと思いますので、例えば期間を設けて見たいという方に関して審議委員は確認することができるという形を取っていただけると非常にありがたいと思います。

伊藤会長

このご意見に対する何かご意見は。

佐藤（憲）

この意見に関しては縛りをつける必要はないので、ぜひ見たい人は足を運んでいただいて見ていただく、それは異論ないと思います。我々もみんな見てください。そこはなにも今までそういうことに対して審議をしていないので、私はそういう考えでいいと思います。

委員

伊藤会長

事務局。

教育課長

いつでもご覧になっていただけますので大丈夫です。次回の審議会で見たいというのであればお持ちしますし、あといつでも集計の時にご覧になっていただきたいというのであればいつでも提示できます。

佐藤（憲）

小学校6人の会長にせつかくこういう形でこれまでの経過も別冊で添付していよいよもって2月1日に全戸配布ということになります。学年も小学校に関しては1年から6年まで、ぜひそれぞれのPTA会長の皆さんには2月1日

までの間に予告なしにこれが広報に、アンケートに前回のような違和感がないように例えばそういうような形で今回審議会のアンケートを取ることになりましたと各学校のPTA会長はそういう努力をぜひしていただきたいことと保育園あるいは未就学児は中々対応できないので、せめて小学校だけはそういうご協力ができるれば、すみませんでした、はじめて見ますということは避けられるのではないのでしょうか。各委員の皆さん1言ずつお願いします。

伊藤会長 佐藤（憲）委員からPTAの審議委員の皆さんにご要望ございましたがいかがでしょうか。

高橋（太）委員 佐藤（憲）委員が言われる前から私はこの会議で自分の意見を話す場、自分ができる範囲でPTAの皆さんに周知しなければとは思っていましたが、そこで少し疑問に思ったのは、広報は全ての家に配布はなっているのですか。じいさんばあさんが離れに住んでいる家にも配布にはなっているわけですか。

教育課長 町の方に世帯分離を届けている家庭であれば大丈夫でございます。

高橋（太）委員 それも踏まえて周知を徹底したいと思っています。

教育長 アンケートにつけてやります。

高橋（太）委員 分かりました。

教育課長 広報については各区長が枚数を広報に連絡をしていただいているのでそれに含まれていれば配布になりますけれど区長がそれにいれてなければ配布になってないこともありますので、各集落で確認していただかないとこちらで把握できません。

高橋（太）委員 とにかくアンケートの対象となる父兄の世帯にどうにかして実家から援助してくれる、周知していこうと思っています。

教育長 アンケート用紙に同じものを入れてやります。

教育課長 学校から配布するアンケートにはこの中間答申の説明書を一緒に入れますので、そこは心配しなくても大丈夫です。

佐藤（憲）委員 例えば八日町の場合だと同一敷地内にじいさんばあさんの母屋、隣に若夫婦の家だと広報は1部です。八日町では、そういう意味では全戸配布にはなっていない。

伊藤会長 一応その点は区長に、各地区で区長が集落の広報を配る件数を把握していますので、ご確認いただければ大変ありがたいと思います。各集落で違うので、2世帯住宅でも1部1部配布なっているご家庭もございますし、地区によって温度差がありますのでご確認いただければと思います。いかがでしょうか。

高橋（太）委員 この会で探ってみて動きたいと思います。

伊藤会長 よろしくご協力お願いします。

阿部委員 高瀬小学校です。高瀬小学校来週だったのですが授業参観がありまして、懇談会等開催予定ですので、そこでお話をさせていただいて、ちょうどメディア関係の研修会が予定されていますので皆さんにお話しさせていただきたいと思っています。あとは2月の頭に理事会も開催されますのでそこでも再度、アンケートが配られている最中だと思いますので、8日の締め切り前に役員の皆さんに再度お伝えをし、前回関心がなかった人もきちんと気持ちを入れてというか、アンケートに答えていただけるような最大限の努力をしたいと思っています。

伊藤会長 ありがとうございます。

高橋（智）委員 藤崎小学校では、1月9日学校運営委員会がありました。この中でも次の31年度の体制に向けての学年委員長の推薦等の話が出てきていますので、その話はつないでいくようにしたいと思います。また高瀬小学校の方でもありましたが、2月4、5日各学年委員長が集まる会がございます。その時にはアンケートが配布されていますので周知を徹底して皆さんからより多くの意見をいただけるようにお願いしたいと思います。

伊藤会長 ありがとうございます。

川俣委員 遊佐小学校ではアンケート期間中、PTAの集まりもございませんので学校の方と相談して知らなかった人がいないように方法を考えて周知徹底に努めたいと思います。

伊藤会長 ありがとうございます。

今野委員 蕨岡小学校です。これまでも委員会ですとか色々お話しする機会がありましたので、大分保護者としては気になってきているところだと感じています。前回中間答申の説明会があったわけですがけれども、中々全体が集まるという機会が非常に少なかったということで、前回の説明会ではPTA会長名でPTAの会員全員に説明会の日程と参加をしていただきたいという文書を配布させていただいたところでした。なお今回のアンケートにつきましても中々皆さんが集まる機会がございませんので、全会員に対してアンケートのご協力をお願いしたいということで連絡をしたいと考えております。

佐藤（憲）委員 大変ありがとうございます。

伊藤会長 ありがとうございます。その他ございますでしょうか。このアンケート（案）でございます。そして対象について問1①から⑨までございますけれども、この辺はこんな感じでもよろしゅうございますでしょうか。

全委員 （了承）

伊藤会長 ありがとうございます。それでは問2の方、文言に関する何かお気づきの点ございませんでしょうか。

それではないということで次の問2①②、問3の項目がなりますけれども、この文言等、この件に関しましてご意見等あればお願いいたしたいと思います。

佐藤（浩）委員 アンケートをし終わってまとめる、その時に例えば保育園でアンケートを取ってまとめた部分がありました。それから各地域が話し合っただけの結果をまとめたデータがありました。そういうデータをばらばらでなく、アンケートが終わった後ですけれども一括してアンケートのデータがなされるようにやった方が良いのではないかと思います。要するに保育園でやった部分は保育園でやったアンケートまとめそれだけでなく、それも活用しながらまとめるべきではないかと思っていました。あと同意はされないと思いますが、対象者これはあえて保育園幼稚園小学校のみとなっていますけれども、せっかくアンケートを取るのですしたら、まだ結婚なさっていない若い人たち、20歳くらいの男女、あるいは私みたいな70、80代くらいまでのアンケートも含めてやれたらなと思う。とても地域の話合いの中で年寄りの方々がいい発言をなさったことがあったので、そういうものが活かされるべきではないかと思っているのですけれども、そうしますと事務局の方で範囲が広くなれば負担が大きくなるし、きついことも言えないと思いながら心の隅ではどうせやるのだったらもっと別の地域の人たちも入ることができたらと思ったりもしています。これはないこ

とにしましょうか。

伊藤会長 ありがとうございます。本当お気持ちは重々お察し申し上げます。
その他にございませんか。

那須委員 前々から気になっていた部分があったのですが、審議会で答申という形で統廃合の年度を私たちは出さなければならないと諮問をいただいた。中間答申はやはり重いものであってその中で、目安で35年という年度を上げさせていただいた。ちなみに35年度を目途に進めていくことになった場合に町の予算の確保、例えば35年度に統合になりました。校舎も出来ていません。予算も取れていません。統合になることのないような、たぶん保護者の皆さんハードの部分、建物や環境づくりが1番最初の説明会の中でも意見があったのですが、そういった過程も含めましてどのような形になるのか、もう1つは私たち審議委員が年度を出す大きなところの諮問だけですが、1番大変なのは準備委員会だと思いますので、準備委員会を早めに、年度の目安が出てきたら早めに立ち上げていただく形を取っていただけるのかどうかお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いします。

伊藤会長 教育長からお願いします。

教育長 お答えします。まず予算をきちんと付けていただけるかどうか。もう来年度の当初予算の3役の聞き取りは終わっています。その中で話題になっていますが、予算は1年1年、もちろん決まるわけですが、当年度の予算は3年先を見越して振興審議会から計画を立てていただいておりますので今年度の予算の作成において平成の年号はなくなるわけですが、32、33年度まで見越して、その中で来年度はこれだけということで調整が進んでおります。そうしますと仮に35年度に学校を一緒にするとなれば、34年度には完成させておかなければならない。そうしますと来年度の今くらいには32、33、34年度を見越して予算の枠を予定していく。当然3年先を見ているが、1年経てば状況は色んなところ、学校教育だけでなく変わってくる。それを修正していくわけですが、そんな中で来年度当初予算に向けた説明会の話し合いの中でもそろそろ頭に入れて、予算組に入れていかなければならないということで、基金というのがありまして、義務教育基金とか色々なものがあるわけですが、そういうところに貯金もしておく必要もあるとかそういう声も出ていますので、その辺は町長、副町長、総務課長等にはご理解いただいている。お話ししておきたいと思います。そういう予定は取っているということでございます。2つめ、準備委員会、これは35年度といきまして、今回アンケートを取りますので、色んなご意見出ると思いますので、それを答申は踏まえて最終的にはいただくことになると思いますけれども、いずれにしても準備委員会を立ち上げるということは、いよいよ予算の裏付けもついて今までの遊佐町の学校、遊佐らしい本当にいい学校でした。でももっともっといい子どもたちの学びの環境を整えていこうということで、お考え、ご意見がある中で、決まった以上は、決まった段階では遊佐町のどこの地区にも誇れるいい学校にしていこうということで、準備委員会の立場はものすごく大事だと思いますので、設置場所は決まったわけですので学校運営をどうするのか、そこからスタートすると思います。最終的には教育課程、学びの中身をどうするかということが時間がかかると思います。これは大綱まで学校の校長方も入れて検討していただいて

精選しながら今のこれから時代の先を見据えて、ふるさと教育も大事、小学校は英語も入ってきていますので、英語の先生は単独で小学校で1人抱えることができることになるわけです。そういったメリットを生かす教育課程を組んでもらいたいとか議論が進んでいくのだと思います。そういうことは十分答申いただいた暁には、これに留めて先に進めていきたいと思っています。ご理解いただきたいと思っています。

伊藤会長 ありがとうございます。

那須委員 あともう1つ、中学校と全小学校のエアコンの設置が決まりました。お知らせ号に載っておりました。ありがとうございました。よろしくをお願いします。

教育長 その件も国の施策でいよいよあともう間もなく、設計の業者が決まりましたので、年度内の予算で今年度の予算ですので2、3月で、ただ機材があるのかどうかははっきりしないのですが、年度内に着工はできませんので、繰越明許で新年度に入って小中の普通教室全部に付ける流れです。これも業者がらみでどこかの市の広報を見ていると2020年度までに完成させると広報している町もあるようですけれども、いずれにしてもこれは国の予算でやる中身ですのでいち早く進めたいと思っております。ただ設置した学校の統廃合もありますので予算との絡みで考慮させていただいて教育委員会としてはいたさせていたきたい。今の段階でこのように考えています。

伊藤会長 ありがとうございます。その他に今日ご発言をしていない方どなたか。

今野委員 先ほどのアンケートの範囲ですけれども、保育園に入ってもらえない50数世帯もできれば取っていただきいと提案をさせていただいたのですが、そちらについてはいかがでしょうか。

教育課長 まずは賛成反対の意見もなかったもので、ちょっと時間がかかりますが、全員調べまして全員に、幼稚園保育園に通っていないお子さんの世帯については郵送でアンケートをもらいたいと思います。

伊藤会長 ありがとうございます。こちらの方から指名させていただいてよろしゅうございますか。小田原委員。

小田原委員 アンケートは2回目、なのでお願いというところに、あまり詳しく書かなくてもいいけれども、結局アンケートを取って皆さまの意見を生かしたいからするわけなので、それを真ん中のあたりで調査の趣旨をご理解の上のあたりに、「皆さまのご意見を生かした審議を行ないたいと思いますのでご協力くださいますようよろしくお願いします。」と入れてもいいと私は思います。生かすためにアンケートを取るわけですから、役場は何でも調査の趣旨を理解の上と書きますけれど、生かしたいから、聞きたいから、なのでよろしくお願いしますということを入れた方がいいと思います。2つめ、これは全戸配布になるのですよね。これぱっと見た瞬間「なんだこれ」となると思うので、吹き出しのように、これは「小学校統合に関する今までの経緯をあらわした重要な書類ですので、全世帯に分かっていただくためのものですので、どうぞお読みください。」ぱっと見たとき分かるようにひと言書いてほしい。横並びで書かれると文章あるなどみんなこのまま、伊藤委員と話していたのですが、1番読んでほしいのは1番最後の間答申説明会の概要、こうやってなったのが1番後ろでもいいが分かりやすい1番前に出すとかしたほうが、それでもいいがただ横並びの文字が並んでいると・・・そこはお願いします。

伊藤会長 良いご提案のように私は思います。事務局、前向きに考えてどうでしょうか。
教育課長 検討します。分かりやすいように変えますけど、ご意見いただいたアンケートと中間答申の説明書を修正したものについて、後ほどお話ししたいと思ったのですが、1月25日まで再度郵送しますのでご確認いただいて、1月30日あたりからアンケートの配布を行ないたいと思っておりました。その間またご意見をいただきたいと思います。まずはできる限りご意見は反映できるように努めますが、技術的にできるかどうか事務局の中で検討させていただきますのでよろしくをお願いします。

伊藤会長 伊藤（淳）委員いかがでしょうか。

伊藤（淳）委員 杉の子の伊藤です。概要ですが、前回アンケートと一緒にという形で、私は見やすく項目にまとめられていたと思います。これはアンケートに付ける、違いましたか。

教育課長 このまま同じものが付きます。

伊藤（淳）委員 アンケートの概要、思ったのですが、前に戻るようですが、9番「審議会にお伝えします」となっていますが、前回の審議会のところ、太田委員からこの審議会での35年というところの大切さも皆さんで共通理解したと思いますので、ここは「審議会にお伝えします」というところがそういう文言ではだめでしょうか。

伊藤会長 ご提案のようですが、このご提案に対してどなたかご意見等ございますか。

伊藤（淳）委員 上までの項目は出たご意見を答えている形になっていますので、まず審議会の方で前回皆さんで話し合った時にはそういう方向になったと思うので、そこを「審議会にお伝えします」ではなく、審議会といたしましては皆さんのご意見を聞きながらこういう方向性・・・という形ではいかがでしょうか。

伊藤会長 今おっしゃっていること分かりますよね。

伊藤（淳）委員 ですので、順番のところは、アンケートはこのようにまた行なってほしいに審議会の方ではこのような形にアンケートを出すので9番のところも前回話し合って太田委員のところにみんなで賛同したように思ったのですが、そこは「審議会にお伝えします」でどうなのでしょう。

伊藤会長 どなたか。太田委員。

太田委員 蕨岡、太田です。今の指摘、「審議会にお伝えします」のまま出すよりもみんなで相談した結果、平成35（2023）年を目標にしていきたいということが審議会の方向とまとまりつつあると載せた方が、ただここに中間答申説明会の概要なものですから各地区と保護者の方に説明した時の説明会の概要と載っているから私はこれでいいと思います。

伊藤会長 概要ということでございますのでよろしゅうございますか。

伊藤（淳）委員 はい。

伊藤会長 ありがとうございます。真嶋委員。

真嶋委員 前回参加できなくて大変残念で、前回の審議の内容を見て見ました。大分色んな意見があるようでした。私の方（稲川）も西遊佐と同じような感じで参加人数が非常に少なかったです。やはり稲川と西遊佐はその前に1度合併しているものですから中々関心がなかったのかなという感じもしました。ただ地区に入って意見を聞いたのですが、やはり中間答申で統合時期が出てきたので、やっぱり色んな意見の中で随分早く合併するのだなという話がたくさん出ました。

伊藤会長 ありがとうございました。統合時期を出すと、出たから出したからということで1つ審議会の前進になるわけです。最終答申に向けて皆さんから今慎重審議していただいているわけですので、やっぱり出さなければどこまで行っても行ったり来たりということになりますので、そういった意味でもそれからまた他の条件、児童数の推移等も含めて1つの2023年という時期を提示して進めているところであります。その他ございませんか。

それでは次第のアンケート調査の内容等についてはこの辺で閉めさせていただきたいと思います。

私は若い人の考えをとにかく尊重したうえでより良い学校を目指すという視点で皆さんからご周知していただければありがたいと思っておるところでございます。

今日はこの辺で審議会、協議を閉めさせていただきたいと思います。事務局お願いします。

教育課長 どうもありがとうございました。協議が終わったところ恐縮ですが、先ほど小田原委員からお話いただいた分かりやすい書き方について、後ほどご教授いただければそのようにこちらで作成をさせていただきますので、なるべくそれ沿った形で出したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。事務局ではこれ以上出来ないかもしれませんのでご指示いただければと助かります。

伊藤会長 小田原委員よろしくお願いいたします。最後に教育長がひと言ごあいさつということでよろしく申し上げます。

教育長 それではひと言お礼を申し上げます。平成最後の年明けということで雪も少なくて穏やかにきておったのですが、昨日今日大雪になりまして大変吹雪の厳しい中お集まりいただき慎重な審議いただきまして大変ありがとうございます。昨年末の中間答申を受けまして11月末から12月にかけて7回説明会を実施しました。その際多くのご質問ご意見をちょうだいし、前回8回の審議会で委員の皆さまにお伝えしたとおりでございます。まだまだ多くの町民の皆さんに伝わっていない状況でないかというご意見をちょうだいしました。これを踏まえて先ほどご協議いただきましたように2月の広報ゆぎの発行に合わせまして、これまでの町内小学校の適正整備に関する中間答申と合意形成に向けた審議の経緯の概要、説明会での応答の主な内容をまとめて全戸配布いたします。そして広報の中にもこういうものが入っていますので、中間答申の内容をお伝えしてましてということで何行か割いていただいております。そしてアンケートの際にはまた同じ資料を各保護者の皆さんに封筒でお配りするということですのでご理解いただきたいと思います。

話がちょっと変わるのですが、昨年8月に遊佐町では三十路成人式をやっています。9回目だった、10年ひと区切りを英語でディケイド(decade)というそうです。来年10回目がかかるそうです。ディケイドがディケイドになるということで、若い皆さんの色んな活躍の状況お伝えしていると思うのですが、昨年の三十路成人式の席上で若い皆さんに町長への質問コーナーがあります。その中で小学校の統合、新校開校を前向きに進めていただいでぜひ良い学びの環境を作っていただきたいという考えもいただいております。そこで先ほどからご意見をいただきましたように若い保護者の皆さん、小学校6年生までですが、学習の様子を身近に客観的に1番見られているのが小学校のPTAの保護

者の皆さんという思いがありますので、教育委員会として結果をまとめて次回10回目の審議会でお示ししたいと思っております。その上でその結果内容をしゅうして時期等に反映させたいと考えております。今回9回目ということで丸々1年なるんですね。本当に長期にわたる真摯なご審議に心から感謝申し上げます。次回もよろしく願います。ありがとうございます。

教育課長　それでは、今後の日程ということになりますが、実は2月19日に夜に会議がございましてできなくなってしまいました。事務局の手違いで載せてしまいましたが、もし委員の皆さまの御都合がよろしければ2月21日を次回の開催とさせていただきたいと思っております。先ほど申し上げましたとおりアンケートは2月1日にそれぞれお手元に届くようにこちらで手配させていただきます。もちろん広報に折込する中間答申の説明書ですが、これも1月24日まで8000部ほど刷らなければなりません。アンケート用と全世帯5000世帯くらいありますので6、7000くらいだと思います。実は小田原委員から1月24日まで印刷することになりますので1月21日までに原稿を作成しなければいけないということで・・・

小田原委員　今行きます。

教育課長　今行きますか。分かりました。今これからお願いしたいと思っております。アンケート回収は2月8日を目途にしておりますので取りまとめは2月12日の週に取りまとめになると思います。15日ごろまでできればと思いますが、もし完成すれば案内と一緒に皆さま方の手元に配布いたしますけれど、間に合わない場合は案内通知だけということになるかと思っております。よろしく願います。ということで進めたいと思っておりますので今後ともよろしく願います。本日はありがとうございました。

2月21日、次回よろしかったでしょうか。よろしく願います。ありがとうございました。